

離島地区「町政懇談会」を開催

8月21日、22日、両島の研修センターにおいて、今年も町政懇談会を開催しました。天売地区21名、焼尻地区28名のみなさんが参加、町からは町長はじめ、課長など13名が出席しました。島の暮らしに関わる事項などを意見交換しました。意見交換の一部(要旨)をご紹介します。



はじめに町から、平成25年度供用開始となる羽幌港中央埠頭の新しい姿についてをイメージ図を示して説明。また策定中の、羽幌町津波避難計画など、島に関わりの大きな事項について説明の後、意見交換を行いました。

天売地区

意見 災害時、避難場所の小学校は、電気や水が止まったら水洗トイレが使えなくなるのでは？対策を考えてほしい。

説明 貯水タンクに水があるうち水は出るが、電気が止まると浄化槽の設備が動けないのでトイレは使えない。仮設トイレやポータブルなどあるが、今後考えていきたい。

意見 大型ゴミの金額の根拠は？また、出す際に支所に連絡し、券を買い、そして名

前を書いて出すと手続きがめんどろ。もう少し簡単にできないか。安くて簡単なほうは不法投棄などにもならない。

説明 金額は先進地を参考に処理費用や重量で決めた。手続きは市街地と同じ。役所への連絡は無くせない。大型

ゴミは一回に出す個数が決められており、事前に出されるものを把握し、業者に連絡している。名前はさまざまダブル防止のため。出した人々後々特定できるようにしている。ご協力をいただきたい。

意見 高速船の料金が高くて島民は利用できない。島民はフェリーと高速船を同じ金額でお願いしたい。

説明 来年度新しい高速船が入るのを機に検討したい。国の離島振興法の改定で、離島への取り組みがしやすくな

る可能性が大きい。島民の生活をどう守っていくか、運賃のことだけでなくいろいろな制度から考えなくてはならない。島独自の振興計画の中で目標をたてていきたい。新年度にむけて対応を考えたい。

焼尻地区

意見 今、道で津波浸水予測図を見直していると言うが、津波の想定が変わったらまた町の避難計画を変えるのか。いつ頃変わる？最大6mの想定は低すぎないか？

説明 道の予定では今年度中に改定作業が終わるとされているが、その進み具合による。

津波の想定については、今、専門家から示されているのが最大6m。しかし、それが絶対ということではない。町としては、道の予測図に基づくと

かない状況なのです。道の改訂に合わせて、町のハザードマップを改訂し、津波避難計画も早期に改訂の予定ですのでご理解いただきたい。

意見 先日、緊急地震速報が鳴った。同時に、IP電話も鳴るかと思っただが、鳴らなかった。連携とれないのか。

説明 まず気象庁からNHK、民放に連絡そして携帯電話会社に連絡がいき速報が鳴る。IP電話には緊急地震速報がすべて入るわけではないが、注意報や警報が連動して発令されるようであれば、情報がでることになっている。

懇談会后、NTTと調整。今後は震度4以上の地震が想定される場合、緊急地震速報と連動させ携帯電話と同じく、IP電話でもお知らせするようにします。

意見 島は若い漁業者が減っている。イターンでもUターンでもいいから漁業の新規就業者にむけた使い勝手のいい助成制度があれば、声をかけ誘うこともできると思う。

説明 今年度一人50万円の助成制度ができた。資材を買う頭金にもならないという声もあるが、他の市町村の状況を確認しながら検討していきたい。

両島での意見交換の主な内容は、羽幌町ホームページに掲載していますのでご覧頂けます。

お問い合わせ

総務課広報広聴係

☎ 62・1211